

経営工学部会 平成23年 4月度研修会の議事録

経営工学部会

部会長 毛利悦造

幹事 河内、末浪

日時：平成23年 4月16日（土） 1時00分より4時45分まで

場所：(社)日本技術士会 近畿支部会議室

出席者（敬称略）

毛利悦造、杉村光二、間島勝彦、増田武司、坂井剛太郎、高倉欣三、南方英則  
栗山仙之助、杉山典之、森和義、杉本哲雄、萩野新、辻本攻、村島繁延、  
花田憲三、末浪憲一（以上 16名）

1. 毛利部会長挨拶（要旨のみ）

本年度最初の部会である。今回は3名の新入会員を迎えることができた。このことは、全員の部会活動が評価されている結果であり、ありがたいことだと感謝している。本年度も全部会員の協力を得て益々盛んになることを願っている。

2. 新入会者の紹介

萩野 新：経営工学（東レ（株） 製品安全・品質保証企画室）

辻本 攻：経営工学（辻本技術士事務所）

村島 繁延：（経営工学・総技）2011年3月末 ルネサス関西セミコンダクタ（株）退職  
立派な経歴の新入会者を迎えて、今後のご活躍に期待します。

3. 研修会

講師：杉村光二技術士（経営工学）

題名：「にわかアフリカ通」

副題： 魅力一杯の大陸、目を離せないアフリカ

概要： JICAの専門家派遣などでお手伝いしてきた中で、一昨年初めてアフリカ大陸のガーナを訪れ、その後日本にアフリカからの研修生を迎える機会を得てきた。アフリカのごく一部を見、学んだこと、知ったことについて述べるとともに、これから爆発的に発展する可能性を秘めた地でのBOP (Base Of Pyramid) ビジネスは、従来の国内需要を想定した商品開発の取組み方を一新するものと考えられる。

(1) 内容：

1) アフリカとの関わりー 世界がアフリカに注目する

発展途上国が経済発展を目指して自国内中小企業の育成を図るために、日本の中小企業制度や生産管理・品質管理の基本を導入しようとする気運が高い。現地中小企業の育成や経営指導する立場にある人達が日本経済の根幹を支える中堅・中小企業の実態を知り、経営管理や人材育成の考え方を習得するための研修に関わってきた経緯を述べる。  
また、アフリカという大陸が資源豊富、未開発で今後の発展が見込まれ世界的に注目・期待される理由、そしてその驚くべき多様性について、断片的で極一部からではあるが知得したことをまとめた。

2) アフリカについてー イメージ・位置・歴史・多様性

貧困・紛争・エイズ・マラリアなど負のイメージの強い理由は何か、どこから来るのかを紐解いたとき、広大な地に多民族、多言語、格段に違う自然環境という多様性から、一概に「アフリカ」としてひとくくりすることの無理に気付く。

広大な砂漠、高温・多湿、砂漠をはさんだ南北地域、旧宗主国の影響、無文字文化と識字率、経済格差など、日本国内では想像しにくい多様性について記述。

### 3) BOPビジネスとアフリカー BOP・日本の中小企業・事例

低所得・貧困でも購買意欲が低いというものではない。世界中に目を向ければ、このような階層の人口比率は72%と非常に高く、市場としての可能性は膨大である。この市場に目を向け商品開発することは、既存の市場とは違った発想が必要であり、従来のいわば富裕層相手の商品企画・開発の考え方を抜本的に変える好機会ととらえることができる。アフリカ市場は今後のわが国の企業が発展していくために無視できないし、一部の先進企業は既に着目し進出している。

### 4) アフリカに目を向けよう― 関心を持つこと自体が支援活動

世界から紛争をなくし少しでも広い地域で平和を実現させるためには、貧困を無くすことが原点で、貧困を削減し無知を少なくしていくことこそ、世界平和につながると考えたとき、この大陸に目を向け関心を持つことが、まず第一歩と考える。

日本から地理的にも遠く、自然環境も大きく異なることから、これまで意識されたことの少なかったアフリカ大陸であるが、未知なる資源と秘めたる魅力、夢多き大陸として少しでも関心を持ち知ることは真のグローバル化を考えていくのに絶好の機会と考えることができる。

#### (2) 質疑応答など

豊富な経験から「アフリカの実情と将来性について」説明していただき アフリカの将来性について知ることができた。また、地域社会に適合した商品開発と販売方法について、「BOP」で考えることができた。

周囲の製品を見てみると、滅多に使わない機能がついていて、そのことで使用法が複雑になり、その上価格が高くなり、販売が困難になっている商品が多すぎる。現地の人たちの要求にあった商品開発、販売方法は、技術士にとって盲点になっていないかと反省しなければならない。

### 4. 部会運営活性化の提案審議（毛利部会長）

6月度研修会で新幹事を決める。

民主的な方法で行う。（後日 投票用紙配布、協力をお願いします。）

### 5. 活動報告（前回以降）

- ① 前回研究会：2月19日、伊藤博幸技術士（建設）「土地区画整理事業とまちづくり」
- ② 第39回全国大会(大阪)実行委員会発会、内容：「場所：大阪国際交流センター、2012.9.21~23、テーマ：科学技術で社会を繋ぐ～繋がりから生まれる新しい未来～」
- ③ 22年度第8回近畿支部役員会：3/7月 18:00~20:30 支部行事・他審議、増田・河内・杉本
- ④ 第一次試験合格者歓迎会：3/12 土 17:00~19:00 OSTEC8階、合格者105名（内経営工学部門1名）、技術士41名、計146名参加、毛利・末浪・河内出席
- ⑤ 山崎副会長を囲む懇談会：4/9 土 13:00～14:40、支部会議室、本部・支部部会活動報告他
- ⑥ 第二次試験合格者歓迎会：4/9 土 15:00～19:00、OSTEC 8階、合格者66名（内経営工学部門5名、萩野・田代・村島・高橋・小川）、技術士62名、計128名参加。

### 6. 連絡事項

#### (1) 経営工学部会行事予定

- ① 次回総会と研修会 6月25日（予備7月2日）、特別講演・栗山先生
- ② 次々回 研修会 8月20日（予備27日）、坂井技術士

- ③ 3次回 研修会 10月15日(予備22日)、杉本技術士「仮題 CPDと関連事項」
- ④ 合同見学会 6月10日(金)～11日(土).ｽﾌﾟﾘﾝｸﾞ 8,川重坂出,白峰温泉泊,屋島観光  
先着25名で募集締め切り 参加希望者は早く申し込むこと
- ⑤ 合同見学会 9月2日(金)又は16日(金)、中小企業・(株)ナベルと(株)さんけい見学

(2) 公益社団法人認定報告及び近畿支部行事予定

- ① 日本技術士会は、平成23年3月29日付にて公益社団法人へ移行が認定された。
- ② 平成23年度近畿支部定時総会：5月14日(土)OSTEC 404号室
- ③ 平成23年度日中科学技術交流会：9月28～29日、場所予定：大阪南港 WTC  
テーマ：「持続可能な社会を目指して」主催：近畿支部、内容：ｼﾝﾎﾟｼﾞｳﾞﾐ-ｲｷｽｶｰｼｮﾝ
- ④ 技術士と産学官セミナー：本年度から毎年8支部の内4支部で実施。11月予定

7 自由発言・その他

- ① 公益社団法人について  
技術士会の組織の再編がある。その影響が部会活動にも考えられる。
- ② CPDについて、(杉本CPD実行委員会副会長)(新入会希望者の要求に応じて)  
今後 技術士の品質について問われることになり、技術士として業務を行う上で重要な要素になる。さしあたって、日本技術士会ホームページを参照し、CPDWEB 登録すること。  
詳細は、10月研修会で杉本先生から、関連事項も含めて説明していただきます。
- ③ CPD教材「経営工学の最近の展開と課題」を回覧

以上